第６回理事会・議事録

　開催日程：令和２年１０月２６日

WEB会議(１９：３０〜２０：４５)

司会：三田専務理事　　出席者　執行部１７名

１．報告事項

会長挨拶および報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　橋本会長

【報告事項】

１）９月２４日（木）１４時　令和２年度　第3回地域歯科医師会会長会議開催

横歯杉山会長がWEB会議にて出席。（オブザーバーは欠席）後日に会議資料が送付された。

神奈川県歯科医師連盟報告

・日本歯科医師連盟次期参議院比例代表選挙における候補者として、萩原鉄也氏（前伊勢原市議会議員）の推薦を決定。

会務報告

・会員現況　県歯３,９７１名（泉区５４名）

・第２１回定時代議員会報告

・新型コロナウイルス感染症対応室報告

「感染対策強化型診療所認定制度」並びに「歯科医療機関における新型コロナウイルス感染症対応指針Ver．６完成」について

・衛生用品の送付

マスク　4,100箱（205,000枚）、グローブS　100箱、M　100箱、L　100箱、

フェイスガード　62,000枚、ガウン　1,170箱（117,000枚）

・新型コロナウイルスのPCR検査を実施

会員、家族、勤務スタッフが対象。専用サイトで予約、9900円（税込み）

２）１０月　８日（木）１５時　令和２年度　第３回横歯理事会へ出席（WEB会議）

・メールアドレス提供依頼

（R02.10.02現在）泉区登録数登録率備考

横歯会員数５６名、登録者数４４名、７８.６％

横歯合計１６６１名 、１１５４名、 ６９.５％

・小児在宅歯科医療に関する調査実施依頼１２月予定

・横歯オンライン講座バージョンアップ

・県歯地域歯科医師会化全地区対象事業確認

・県歯事業と横歯事業との役割分担継続協議

・全国共通がん医科歯科連携研修会１０月２２日（木）１３時～定員６０名

・歯科医療従事者に対する感染対策講習会

①横浜市（南区）歯科医師会：１０月２９日（木）１９：００～２０：３０

神奈川県歯科医師会館　定員６０名

②小田原歯科医師会：１１月１５日（日）１５：００～１７：００

小田原市歯科二次診療所　定員３０名

③横浜市歯科医師会：１２月１０日（木）１９：００～２０：３０

神奈川県歯科医師会館　定員６０ 名

・県歯災害時用LINE｢オープンチャット｣登録依頼

・大震災発生時のぼり旗及びフラッグ納品依頼

・県歯災害対策実務地区担当者連絡協議会(１０月　１日)

・組織力強化地区担当者協議会(７月２９日)

・横歯新入会員研修会令和１１月２６日（木）１５時～

・第50回永年勤続表彰式(表彰のみ) ：６２医療機関 １３８名

・新型コロナウイルス感染症対策講習会(９月１０日)

・横浜市妊婦歯科健康診査事業実績　泉区４月～８月、９４件

・横浜市オーラルケア推進事業実績　横浜市４月～８月、４３６名

・県民歯科保健実態調査実施協力依頼　地域保健

・横浜市個別委託乳幼児健康診査(特例措置)事業実績

５月～８月、１歳６か月児、１８３名　３歳児、１３３名

・学校歯科健康診断時のグローブの取扱い　各学校側と相談の上

令和２年１２月末までに実施、ダブルミラーにて

・就学児健康診断における応援医配置　次年度就学予定者１０１人以上に１名

・在宅要介護者訪問歯科健診事業　令和２年９月１日～令和３年１月３１日

・全国共通がん医科歯科連携研修会(１０月２２日)

・COVID-19対策室　衛生用品配付

３）１０月１０日（土）１４時～　泉区医師会館内覧会へ参加

副 会 長（岩崎副会長）

　 連携室　相談２件　訪問１件（前原先生）

副 会 長（相庭副会長）

 連盟参照

専 務

　　１０月　１日(木) 県歯災害時対策実務担当者連絡協議会にオブザーバー出席

　　１０月１２日(月) 災害対策２０１９歯科医療救護計画の見直し協議

　　１０月２０日(火) 県歯令和２年度情報伝達訓練（２４時間以内回答１２名）

《委員会報告》

医療管理　なし

医療保険　１０月　５日(土) 泉瀬谷合同医保委員会

来年度医保目玉資料内容協議、青本抄読

　　　　　 VE&周術は別掲

学　　術　１０月２２日(木) １０月３１日予定の三区合同学術研修会の打ち合わせ及び青山先生の講義内容の録画（毛呂歯科医院にて）

　　　　　１０月２６日(月) 三区合同学術委員会（ZOOM）

学校歯科　松陽高校の協力医が検診に難色を示していたが、協力頂けることになった

厚　　生　なし

広　　報　横歯に歯界月報「地域展望」の原稿投稿

ホームページの更新を管理会社に依頼

地域医療　１０月 ９日(金) 国際親善総合病院地域連携室　佐藤副病院長　鈴木連携室長　周術期連携に関する打ち合わせ

VE&周術は別掲

地域保健　・下和泉地区で１０月１０日（土）に実施予定でした講演に関して、台風の

影響により先方より中止の通達有り

本年度の下和泉地区での再予定は無し

 　　　　 ・福祉保健センターより令和3年度の乳幼児歯科健診の輪番表の作成依頼

連 盟 １０月　８日(木）田中しんじを育てる会

　　　　　１０月１５日(木）連盟第４回理事会

《特別委員会報告》

VE＆周術　１０月　２日(金）web協議

１０月　９日(金) web協議

１０月１９日(月) web協議

２．協議及び承認事項

会　　長　横歯からのメール登録依頼について→未登録の方は個別対応

副 会 長 連携室関連

 日 時：令和２年１１月１２日（木）１４時～１６時（受付１３時３０分～）

会 場 横浜市泉区医師会 会議室

出席者　橋本会長、石川理事、毛呂理事、千原先生、吉野理事

専　　務　感染対策強化型診療所(感強診)に関する説明会に関して

　　　　　事前質問（別添）

　　　　　１１月１２日（木）令和２年度第２回泉区災害医療連絡会議実務部会出席予定

医療管理　なし

医療保険　１.協議事項

なし

２.承認事項

１１月　９日(月)泉瀬谷合同医保委員会

来年度医保目玉資料内容協議、青本抄読

学　　術　１０月３１日(土) 三区合同学術研修会、開会挨拶・閉会挨拶に関して

日歯生涯研修・認定医制度所得の案内を当会会員へ行うよう小野理事より依頼

学校歯科　１.協議事項　なし

２.承認事項　なし

厚　　生　忘年会について　Web忘年会と配布の食べ物について

支部旅行について　バーチャル旅行の継続協議

広　　報　１.協議事項　なし

２.承認事項　なし

横歯を支える１８区に泉区が掲載予定

地域医療　１.協議事項(継続協議)

　　　　　１）嚥下内視鏡に関して

　 医療保険委員会とカルテ書き方や点数の取り方など

『VE&周術期』web協議中

２）災害医療　LINEグループ作成

　　　　　　　情報収集班・巡回診療班 各班長にLINEグループメンバー形成（継続中）

３）国際親善総合病院・県立がんセンター周術期協力歯科医院対応研修会等開

催（先方と協議必要）

医療保険委員会とカルテ書き方や点数の取り方など

『VE&周術期』web協議中

４）糖尿病歯周病重症化予防（医科歯科連携）eラーニングにて受講いただく

　　　　　　　学術委員会と協議行い、各会員への受講啓発に関して検討したい（未協議）

５）歯科訪問診療（連携室）歯科訪問診療関係医療機関等広報（常に他職種会

議などで案内）

　　　　　　 歯科訪問診療始める方機器のアドバイスや患者の了解得られれば同行見学

など（歯科訪問診療行なっている会員は増加傾向。現在、何の知識を得たいか？リサーチの上開催に関する協議が必要）

　　　　　　　医療保険委員会と診療報酬点数の取り方など講習会計画（未協議）

　　　　　６）障害者・児に対するアプローチ

泉区歯科医師会としての取り組み・方向性に関する（未協議）

　　　　　２.承認事項：今年度の協議事項に関して

　　　　　　　なし

地域保健　１.協議事項　なし

２.承認事項　なし

連　　盟　１.協議事項　県歯連盟から登録の自民党員費の振替について

　　　　　　　　　　　 →メールにて継続協議

２.承認事項　なし

《特別委員会協議》

会則改定委員会会則改訂案に関して（別送）

 　次回理事会　　１１月３０日(月）Web会議１９：３０〜

 　 次次回理事会 １２月２１日(月) Web会議１９：３０〜

（別添）

【感染対策強化型診療所(感強診)に関する説明会事前質問】

神奈川県歯科医師会役員の先生方におかれましては、日頃から歯科医療の向上、会員の向上のため、ご尽力していただき誠に感謝しております。

「感染対策強化型診療所認定制度について」質問をいたします。

「感染対策強化型診療所認定制度について」の概要は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が広がる中、感染対策を強化している診療所を「感染対策強化型診療所」として感染対策強化型診療所認定審査委員会による審査の上、神奈川県歯科医師会が認定する。と言うようなことが記載されています。

　コロナ禍のこの時期にしっかりと感染対策に取組み、受診者へそのことを目に見えるように伝えることはとても大切なことだと理解をしています。また、医療安全に関わる施設基準を取得することによって、より安全な医療提供ができるので地域歯科医師会としては、会員へ周知し推進していかなければならない事だと思います。

　このコロナ禍において、新型コロナ感染症を懸念して歯科でも患者の受診控えが多少見られることと思います。今まさに行わなければならないことは、神奈川県歯科医師会の会員は、しっかりと感染対策に取り組んでいると言うことをアピールすることにより受診率を戻し、未入会者との格差を広げ、それを元に組織率を上げることが大事だと思われます。

　外来環の施設基準の取得は約４０％程度であり中には代診の確保や歯科衛生士の確保が困難な診療所もあると思われます。ましてや、感染対策を謳っている施設基準は、「歯初診」であるのに、なぜ、この時期に「外来環」じゃなくてはならないのでしょうか？

この先、外来環を取得したくても、歯科衛生士が不在、代診が不在等で雇用したくても様々な状況で雇用できない診療所もあると思われます。また、「外来環」を取得するのに必要な装置の購入はすぐにできる物なのでしょうか？この時期なので、コロナ感染症対策に特化するのであれば、せめて、ほとんどの診療所が取得している「歯初診」が妥当と思われますがいかがでしょうか？

また、矯正専門医など保険外診療を主体としている会員はどうしたらよいのでしょうか？このことは、未入会者との差別化ではなく、会員間での差別化になっていると思われますが、いかがでしょうか？

　この認定制度は、もちろん神奈川県庁も承知のこととは思いますが、すでに神奈川県は感染防止対策取組書をシステム化しています。また日歯も「安心マーク」を発行しています。神奈川県と日歯の安全対策のアピールだけだと事足りないと言うことでしょうか？

また、一団体がその会員を擁護するために認定した認定書と行政が認定した取組書では、受診者としての信頼性はどちらが高いと思われますか？

できればこの認定書に神奈川県のお墨付きがいただけると良いと思います。

また、認定費用についてですが、なぜ、そこまで立派なものが必要なのですか？受診者へのアピールであれば、用紙１枚ですむと思いますがいかがでしょうか？

そして、独自の認定制度や認定費の徴収などこれだけのことを行うのに日歯の意向は確認されたのでしょうか。

　再三言いますが、このコロナ禍において受診率を戻すためには、口腔のケアの重要性や感染対策に取り組んでいる事をアピールするのが大切であって、わざわざこの時期に半数まで満たない施設基準の安全対策をアピールする必要性があるのでしょうか？

　これは要望ですが、安全対策・感染対策を認定したいのであれば、まずこの時期なので「歯初診」の感染対策で認定し、「外来環」の安全対策は３年後の更新までに取得してくださいという方法も考えられたのではないでしょうか？

以上

質問の要点

・コロナ禍の時期になぜ「歯初診」ではなく４０％程度の取得率の「外来環」なのか？

・会員間の差別化についていかがか？

・神奈川県庁と日歯のだけでは事足りないのか？

・認定費用について高額すぎないのか？

要望

・最初は「歯初診」、更新時までに「外来環」